

統合中学校の校舎イメージ決定

去る7月13日、統合中学校の校舎イメージおよび配置について、町長他関係職員と統合中学校建設委員の15名で設計業者からのプレゼンにより審査会が行われ、設計業者が決定されました。今後、具体的な校舎の設計や関係者との調整に入り、今年度末までに設計等を終える予定です。

プレゼン終了後、統合中学校建設委員会で給食等に関する協議も行われました。

- 1 統合中学校の給食については、町内(豊松)の共同調理場からの配送とする。
- 2 寄宿舎の給食については、民間業者へ委託して実施すること。
- 3 今後、統合中学校の開校に関する情報は、広報紙を中心として情報発信をしていくこと。

以上の3点が確認されました。



参考イメージ 校舎南東側外観

神石小学校が完成しました

4月から建設しておりました新しい神石小学校がほぼ完成しました。8月29日からの2学期に向け、備品の搬入など最終的な調整をしています。

真新しい学校で、子どもたちが元気に楽しく学ぶ姿を是非、見に来てください。



8月6日現在の様子

全国瞬時警報システム(J-ALERT)の全国一斉自動放送試験!

平成24年4月から運用開始した、全国瞬時警報システム(J-ALERT)の自動放送試験が、全国一斉に実施されます。この試験放送は、各家庭に設置されている告知端末機や屋外放送施設から、一斉に放送されます。試験放送ですので間違えないようにしてください。

実施日時

- 9月12日(水)
- 1 回目…午前10時00分頃
 - 2 回目…午前10時30分頃

※災害発生や気象状況によっては、試験放送を中止する場合があります。中止する場合は告知放送でお知らせします。



「セグウェイ試乗会」大盛況!

7月14日から27日まで、帝釈峡各会場(トレイルセンター、スコラ高原、上帝釈第2駐車場)でセグウェイ試乗会が開催されました。また、28日・29日には神石高原マルシェ in 仙養ヶ原ふれあいの里で試乗会が行われました。

期間中、延べ300人以上の方が試乗され大盛況となり、体験者からは「また乗ってみたい」「ぜひ導入してほしい」との多数の意見がありました。

帝釈峡広域観光プロジェクト推進実行委員会では、アンケート結果を基に帝釈峡でのセグウェイ導入について検討していきます。



食育ミニ知識 毎月19日は食育の日 神石高原町は「宝の山!」

豊かな自然が広がる神石高原町。そこで育てられた食材は、おいしくて安全だという定評です。多くの人が「宝の山だ」と感心しています。たとえば、福山市の学校給食(約3万食)に使用されるお米の80%以上が神石高原町産です。

学校給食では「宝の山」を用いた「神石高原町ランチ」を学期に1回提供しています。6月19日にも「エコ豚」「トマト加工品」「ブルーベリージャム」「ほうれん草」等を使用し、大変好評でした。



〈メニュー〉

- ・ごはん ・牛乳
- ・とんカツのトマトソースかけ
- ・ほうれん草サラダ
- ・ブルーベリーゼリー
- ・コンソメジュリアン



とんカツ うまっ!

神石高原町食育推進ネットワーク協議会 食農教育部会

町立病院からのお知らせ

「移動診療車がやってきました」

県北部地域の無医地区等の住民の方の受療機会を確保するため、超音波画像診断装置や自動血液分析装置等を搭載した移動診療車の運行を始めました。

神石高原町立病院・庄原赤十字病院・市立三次中央病院が共同で運用し、神石高原町立病院では油屋地区の巡回診療に利用します。



町立病院健康学習会「まめくらぶ」

「認知症について」

7月26日、まめくらぶが開催され、漆谷先生より「認知症について」のお話がありました。症状を認めにくく対応にも迷う「認知症」について、記憶・言語・行為・認識・実行の認知機能障害やそれを引き起こす病気別の症状について、体験談を交えて「みなさん話を聞いて気を落とさないでくださいね。」と終始明るく話を進められました。



認知症の方の行動には意味があること、コミュニケーションや役割を持ってもらうなどの心地良い刺激が必要であること、そして愛情を持って優しく接することが大切であることが分かりました。